

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 03 02	中期総合計画主要施策番号		3 - 02	担当課	部・課	衛生部医療政策課国保・医療福祉室	
事業名		後期高齢者医療給付事業					内線	2348	
							E-mail	kokuho@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	後期高齢者の医療給付費の一部を負担する等により、後期高齢者の医療の確保と、運営主体である長野県後期高齢者医療広域連合の財政の安定を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 高齢者数、医療費が増加している。 20年4月から後期高齢者医療制度が施行され、長野県後期高齢者医療広域連合が制度の運営主体として設立された。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 高齢者数、医療費が増加することにより、医療給付費等の負担が増加し、今後も増加が見込まれる。 長野県後期高齢者医療広域連合の財政負担も今後増加が見込まれる。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 長野県後期高齢者医療広域連合に対し、各種負担金を支出することにより、広域連合の財政の安定を図る。							
	事業内容	・後期高齢者医療給付費県費負担金の支出(負担割合：【国】4/12、【県】1/12、【市町村】1/12) ・後期高齢者医療保険基盤安定事業負担金の支出(低所得者保険料軽減の場合の負担割合：【県】3/4、【市町村】1/4) ・後期高齢者医療高額医療費負担金の支出(負担割合：【国】1/4、【県】1/4、【広域連合】1/2)							
実施期間	H20 ~		根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第96条					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	後期高齢者の医療の確保及び広域連合の財政の安定による老人福祉の増進		医療給付費の一部などについて、法令に定められた定率負担をする。			医療給付費の一部などについて、法令に定められた定率の負担金等を支出した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円		17,788,456	20,998,065	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円		17,786,479		実施方法	負担金	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		17,578,569	20,722,418	歳出節別内訳等	負担金：17,474,614 積立金：311,866	
	概 算 人件費	従事する職員数	人		1.00	1.00	(単位：千円)		
	概算人件費 (C)		千円		7,149	7,149			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円		17,793,628	21,005,214				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	後期高齢者医療受給対象者数		人	-	282,633	286,630			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	医療給付費の一部などについて、法令に定められた定率負担を行っている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		医療給付費の一部などについて、引き続き法令に定められた定率負担をする。						